

【国指定・重要文化財（建造物）】

けどういんけじゅうたく

祁答院家住宅

おもて なかえ うすにわ

つれたり おもてもん

附 表門

昭和50年6月23日指定



■ 所在地 伊佐市大口里1855

■ 所有者 個人

■ 特徴

伊佐市にある祁答院家住宅は、江戸時代の中ごろに建てられたといわれる武家住宅です。祁答院家の家系図によると、祁答院氏が大口に移住したのは、承応2(1653)年と記されており、現在の住宅はその後、18世紀前半に建築されたものと推測できます。門は茅葺から瓦葺に変わっているものの門扉(もんび)は創建当時のままです。また石垣等も古い部分を残しています。母屋は農耕に対応した部分と接客を重視した武家の部分から構成され、当時の地方武士(郷士)の生活を知る上でも貴重な建造物です。